

# 森のようちえんは できないか？

教育  
委員会

## 保護者の理解があれば 子育て支援事業で検討



竹口大紀 議員

【竹口】町長が理想と考える保育とは。  
【町長】保育所や保護者、地域の人と関わり、集団の中でたくましく育っていく保育。  
【竹口】本町でも施設型ではない、自然を生かした保育ができないか。  
【町長】町の基本理念は、森のようちえんと同じところがある。自然に親しみながら成長してほしい。  
【教育委員会】よいところを参考にしながら、



自然にふれ豊かな感性が育つ子に

現在の保育所で自然にふれあい、豊かな感性が育つよう努める。  
【竹口】行政主導が難しいければ、NPOや民間事業者に補助をする考えは。  
【町長】地域活性化交付金が活用できる。  
【竹口】新体制の子育て支援センターで計画しては。  
【教育委員会】子育て支援センターの事業として、保護者の理解が得られれば検討してもよい。

# 首長が定める 教育目標は？

教育  
委員会

## 独立性を 保ちながら連携

【竹口】首長が定める教育目標をどう考えているか。  
【教育委員会】首長と教育委員会が独立性を保ちながら連携し、教育の方向性を定めていくことが大切である。  
【竹口】教育の政治的中立をどのように解釈しているか。  
【教育委員会】公的な資質を育む学校教育では、政治に関する



教育委員会が主催するスポーツイベント

る知識の習得は必要である。特定の政治的思想にかたよった教育をしてはならない。  
【竹口】首長が「中学校の統合はしません」と宣言するのは教育委員会の管理権限に入り込んでいるのでは。  
【町長】学校の統合は、地域づくりやまちづくりの視点もある。  
【竹口】社会体育施設

の指定管理は、教育委員会管轄にある現状で、町長は独断で指示ができない。  
教育の政治的中立性の確保は、社会教育・芸術文化・スポーツなどにまでおよび必要があるのか。  
【教育委員会】芸術や文化などを含め、教育委員会が総合的に事業をすることで連携がはかれる。